

令和3年度 幼稚園自己評価・学校関係者評価 報告書

令和4年3月30日

学校法人 山崎文化学園 青嶋幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・あいさつのできる子
- ・思いやりのある子
- ・興味を持ち努力する子
- ・明るくのびのびした子
- ・自分から進んで喜んでやれる子
- ・ねばり強くがんばれる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

年少組	園生活の流れや生活の仕方が分かり、先生や友達と親しみ、遊びを楽しむ。
年中組	色々な遊びに興味を持ち、友達との関わりや遊びの幅を広げる。
年長組	みんなで協力したり、役割分担などしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目（評価の視点）	評価	取り組み状況
1	子どもの自立心や自発性	B	保育者や友達との信頼関係を築き、期待感を持って園生活を過ごすことが出来た。また、日々の当番や行事では、自分の役割を意識して行うことができた。
2	豊かな感性や表現する力	B	日々の遊びや活動・行事の中で、自由な発想で表現する姿が見られた。
3	人と関わる楽しさ、役に立つ喜びを味わう	B	片づけや掃除などを通して、貢献する喜びや感情を味わえた。誕生日会等を通して、家族の愛情を感じる事ができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	3つの評価項目を念頭に組み組んだ結果、10の姿それぞれの視点から、子ども達の育ちを感じる事ができた。10の姿は幼児期のゴールではなく、育ちの視点であることを改めて感じる事ができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園内研修と外部研修参加の充実	教育の質を高めるため、定期的な園内研修の実施と、外部研修への参加を高める
2	情報発信力の向上	保護者や地域の皆様へ幼稚園の取り組みを広く知っていただくために、色々なツールや機会を使って発信していく
3	保育環境の改善	子どもの主体性を大切に、子どもの姿から遊びの発展を念頭に、園庭や保育室に必要な環境について話し合い、整備する

6. 学校関係者評価委員からの評価

子どもの自発性や主体性を尊重し、自由遊びの時間を増やして保育を進めていこうとする様子が見られた。他方で、それを優先するあまり、ある意味で放任となってしまうことに注意が必要である。保育者は子どもの興味関心を捉え、遊びや活動の目当てを踏まえて、環境を整備してほしい。